

2010年度新2回生所属コース選択について

経済学科に所属するみなさんは、2回生から「経済戦略」「ヒューマン・エコノミー」のいずれかのコースに所属することになります。各コースの概要およびコース選択のスケジュールは以下の通りです。

日 時	行 事
12月8日(火)午前10:00 ~12月21日(月)午後5:00 (ゼミ一次申込期間と同日程)	所属コース希望申請期間(経済学部 HP)【期間厳守】
1月14日(木) (演習要項には15日と表記していますが、正しくは14日です)	コース選択結果発表(個別学内メールにて配信) 所属コース確定

期間内に申請をしない場合は自動的に振り分けます。必ず期間内に申請を行ってください。

所属コース希望申請に関する注意点

所属コースの希望申請はWEBで受け付けます。

ゼミを希望されない場合でも必ずコース選択は行って下さい。

所属コース確定後の希望変更は一切受け付けません。

所属コース確定後に所属コースの変更を希望する場合は、3回生進級時に「転籍制度」を利用してコース変更の申請をしてください。ただし、「転籍制度」には出願資格がありますので、「転籍要項」で確認してください。

各コースは、以下の概要や『履修要項』、『STEPIN 経済学』を参考にして下さい。

経済学科各コースの概要

経済戦略コース

教育の目標と特色

「サブプライム問題」に端を発した世界同時不況下において、世間から市場(しじょう)に対して厳しい目が向けられています。いわく、「派遣切り」などに象徴される経済格差を生み出した元凶は市場である。いわく、市場は一部の人間だけが得をするシステムである。このような意見がマスコミを賑わしています。

しかし、これらの見解はすべて正しいのでしょうか。市場はそこまで無軌道で非情なシステムなのでしょうか。経済戦略コースでは、「市場」というものを俎上にあげて色々な角度で分析を行います。コースでの学びを通じて、市場の持つ有効性とその限界をきちんと理解することができます。そして、皆さん自身の力で、上記の問いに答えてみて下さい。加えて、上記の問いに答えが見つかれば、マスコミでエコノミストと称される人々の政策提言が自身の専門領域での研究成果を踏まえて述べているものなのか、単に思いつきの域を出ていない空論なのかが見抜けるようになるでしょう。

養成する人材・進路等について

- **人材養成の目標**

経済の理論や実証分析の知識・経験をベースに、21世紀の経済発展や政府・企業のあり方を模索し、新たな日本経済の運営方式を見つけ出せる能力、「問題発見・政策提言」型の能力を養成します。

- **予想される進路**

総合的な分析能力が要求される金融分野、メーカー、商社、政策立案能力が求められる公務員など。

ヒューマン・エコノミーコース

教育の目標と特色

効率と利益優先の経済システムは、人権の無視や環境破壊など深刻な諸問題を産み出しており、「持続可能な開発」の視点から大量生産・大量消費・大量廃棄体制の見直しが必要となっています。人間らしい経済社会をどのように構想し、実現していくかということは、今後の経済社会の発展方向を考える上で最も重要な課題です。

この課題に対して、生活、文化、福祉、医療、都市環境、地域、消費生活、労働、教育、土地住宅、情報、軍縮と平和など、身近で具体的な問題から、社会全体の問題まで視野を広げていきます。特に具体的な課題に即して、経済問題を捉えることを重視し、実習・調査を正課に取り入れています。

養成する人材・進路等について

- **人材養成の目標**

人間尊重や自然との共生の視点から、現代経済の現実的諸問題を学習するとともに、新しい経済社会システムのあり方を模索するためのベースとしての経済理論を学びます。今後成長が期待される産業でリーダーシップを発揮する起業家やパートナー、また専門職に対する社会の需要はますます増大します。そこでは経済学や経営学をベースに総合的視野からアプローチできる人材が求められます。経済・社会の人間化の視点から現代経済社会に関わる諸問題を発見・提起し、またそれを解決できる能力を持った人材を育成することを目標とします。

- **予想される進路**

教育・福祉・医療・保険・マスコミ・旅行関連業界、また公務員など。

以上